

かけはし

赤の1組
～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、赤の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

大学キャンパスへ出掛け、「秋」を見つけてきた子どもたち。紅葉した葉っぱや木の実を見つけるたびに、友達と「秋みつけた!」と言いながら、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。拾ってきた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊び始めました。

★ ドングリのアクセサリ屋さん ★

ドングリや落ち葉でネックレスや指輪をつくりたいという子どもたちの思いから生まれた遊び。



「いろいろな色や形のドングリを見つけたよ!」



「いらっしゃいませ!」



「ドングリ、いっぱいのお世話よ!」「動物さんの顔にしたよ」と楽しそうに会話を弾ませながら、思い思いのアクセサリをつくっています。



たくさんのアクセサリが出来上がると、「みんなにあげたい!」とお店屋さんごっこが始まりました。



木の実拾いでたくさんのおもちゃを拾ってきた子どもたち。ドングリを使ってどうやって遊びたいか尋ねると、「ネックレスや指輪をつくりたい」という声。

★ ドングリころころ ★

ドングリを転がして遊んだことから生まれた遊び。



「ドングリが通るトンネルをつくろう!」



「どうやってつなごうかな?」

「このドングリよく転がるね!」

お部屋でドングリをころころと自由に転がし始めた子どもたち。ドングリが転がるトンネルをつくりたい!という意見がありました。次の日、おうちから身近な素材(ペットボトル、トイレトーパーの芯、空き箱など)を持ってきて、ドングリのトンネルづくりが始まりました。

どの形のドングリがよく転がるか試したり、どうしたらよく転がるか工夫し改良を重ねたりしています。また、たくさんトンネルがあればみんなまで遊べると、トンネルをつくり足しています。



製作中に、「どんぐりころころ」の歌を口ずさんでいた子どもたち。「ドングリのお池をつくらう!」というアイデアも出てきています。

★ 森の音楽会 ★

ドングリを使って楽器をつくったことから生まれた遊び。



「これはシャカシャカって鳴るよ!」



「これはカラカラって音がする!」

ドングリを身近な素材(ペットボトル)に入れて振ると、「いい音がするよ!」と、ある子が気づき、鳴らして聞かせてくれました。容器の素材(ペットボトル、箱、ゼリーカップなど)によって音が違うことも発見し、「いろいろな音があるといいね!」と好きな素材を使って楽器をつくる遊びが始まりました。

ある絵本で、ドングリを動物が食べていることを知った子どもたちは、「ドングリを好きな動物になって踊りたい!」と動物に変身して、曲に合わせて楽しそうに楽器を鳴らしながら、歌をうたったり、ダンスをしたりしています。

★ 病院ごっこ ★

ままごと遊びから生まれた遊び。



「痛いところはどこですか?」



「よく効く薬をつくろう!」



ままごと遊びのコーナーに置いてあったベッドでお医者さんごっこを始めた子どもたち。聴診器や注射などもつくりながら、遊びが盛り上がっています。

「病気が良くなるようにお薬もあげようね!」とドングリのお薬をつくらうたり、患者さんを運ぶ担架も登場したりしています。

★ トンボになって ★

スポーツデーで縄を使った遊びを経験したことがきっかけで生まれた遊び。



スポーツデーで縄跳びの両足ジャンプを経験した子どもたち。「もっと高く跳べるようになりたいな」という声が聞かれ、保育者がお部屋に箱を高く積んだものを用意しておくことでそれを両足ジャンプで跳び越える遊びが始まりました。「トンボみたいに飛べたらいいな〜」という声もあがり、手づくりのトンボのメガネや羽を身につけ、トンボになりきって、身体全体を動かしながら楽しく遊んでいます。